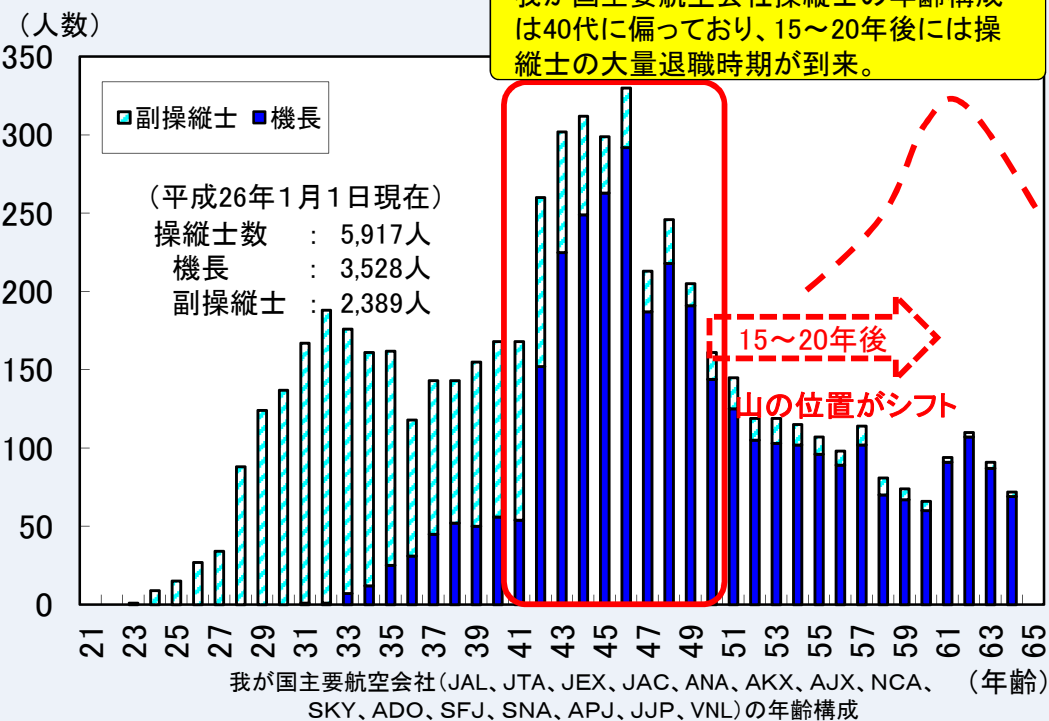
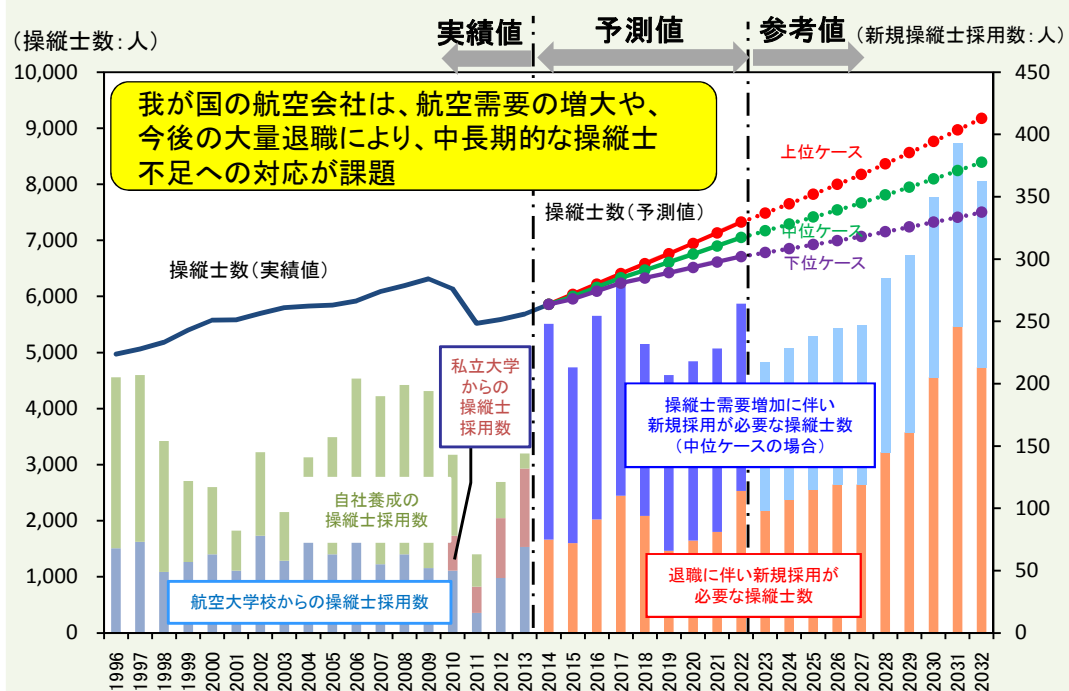


# 我が国操縦士を取り巻く現状・課題

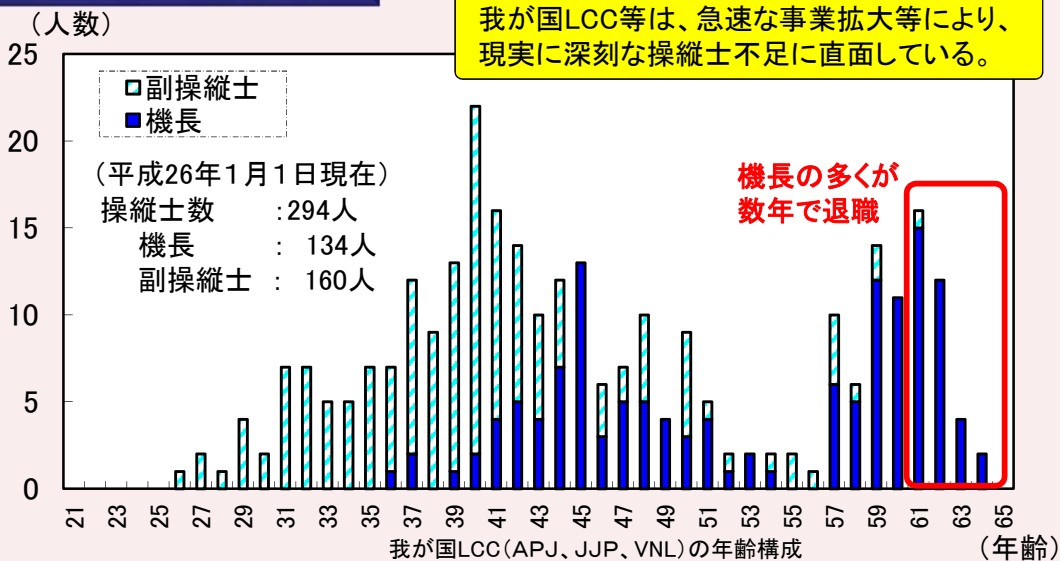
## 我が国主要航空会社の操縦士



## 我が国の操縦士の需要予測



## 我が国LCC等の操縦士



## LCCの計画減便

ピーチ・アビエーション(原因:想定外の病欠者発生、新規採用計画未達等)

減便時期	減便数	影響旅客数
5月、6月	448便 (11.1%)	16,393人
7月、8月	892便 (18.8%)	7,801人
9月、10月	740便 (18.0%)	3,010人
合計	2,080便 (16.1%)	27,204人

バンニャ・エア(原因:想定外の退職、新規採用計画未達等)

減便時期	減便数	影響旅客数
6月	154便 (21.4%)	2,551人

# 操縦士・整備士等の養成・確保のための具体的方策①

短期的課題

## 即戦力となる 操縦士の確保

自衛隊操縦士  
外国人操縦士  
現役操縦士

### 自衛隊操縦士の活用

- 昨年3月に再開した「自衛隊操縦士の民間における活用(割愛)」のさらなる活用  
※昨年12月に自衛隊操縦士の計器飛行証明取得のための訓練の合理化を実施

### 外国人操縦士の活用

- 外国人操縦士の在留資格要件等の見直しの検討や外国資格の書き換え手続き簡素化  
※書き換え手続き簡素化については昨年12月に措置済み

### 健康管理向上等による現役操縦士の有効活用

- 航空会社の健康管理部門に対する指導強化等による健康管理体制の強化
- 安全性向上とともに柔軟な乗務管理を可能とする疲労リスク管理システム(FRMS)の導入検討
- 安全確保を前提に、65歳以上の操縦士の活用の可能性を含めた加齢乗員のあり方を検討 等  
※昨年10月に操縦士が使用可能な医薬品の範囲拡大を実施済み、加齢乗員のあり方については年度内目途で検討中

### その他

- 副操縦士が機長に昇格する際の訓練・審査プロセス等の効率化  
※昨年12月に措置済み

中・長期的課題

## 若手操縦士の 供給拡大

自社養成  
私立大学  
航空大学校

### 自社養成の促進

- 航空会社が柔軟に訓練・審査プログラムを策定することができる新たな制度(AQP)を導入 等

### 私立大学等の民間養成機関の供給能力拡充

- 私立大学の高額な学費負担を軽減するため、奨学金制度の充実等を検討
- 民間養成機関における学生等の技量レベル向上を図るため、追加訓練の促進等を検討 等  
※航空機操縦士養成連絡協議会の場を通じて実施に向けた検討中

### 航空大学校のさらなる活用

- 安定的供給源の役割を果たしつつ、私大への技術支援等により民間の供給能力拡充に寄与
- 複数の航空会社による共同養成訓練の受託等、航空大学校の経営資源の活用を検討 等

操縦士

# 操縦士・整備士等の養成・確保のための具体的方策②

整備士・製造技術者

短期的課題

即戦力となる  
整備士の確保

## 整備士資格の制度・運用の見直し

- 保守及び軽微な修理を担当する整備士資格の更なる活用のため、その業務範囲を明確化
- 外国人整備士を広く活用するため、外国資格の書き換え手続きを明確化
- 航空専門学校での履修状況を踏まえた上級資格試験の一部簡素化
- 航空会社における効率的な整備士養成が可能となるよう指定養成施設の活用を促進  
※外国資格書き換え手続き明確化・上級資格試験の一部簡素化については昨年7月に措置済み

中・長期的課題

若手整備士・  
製造技術者の  
供給拡大

## 整備士・製造技術者の供給拡大のための制度・養成のあり方の検討

- 航空機製造技術者について、資格的に活用できる認定制度等の創設を検討
- 中長期的な整備士・製造技術者の資格制度のあり方について検討
- 中長期的な整備士・製造技術者の養成のあり方について検討  
※整備士・製造技術者養成連絡協議会の場を通じて検討中

共通項目

中・長期的課題

産学官の  
連携強化

## 協議会の設置等

- 航空会社、養成機関等の連携を促進し、関係者間で諸課題に対する検討を行うための協議会を操縦士／整備士・製造技術者のそれぞれについて設置  
※昨年8月に「航空機操縦士養成連絡協議会」「航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会」を設置
- 航空業界や操縦士、整備士等に対する若年層の関心を高めるキャンペーン・教育等の実施

## 今後の進め方

- 操縦士／整備士・製造技術者に係る協議会が昨年8月末に設置されたところであり、この場も活用しつつ、諸課題の具体化に向けた検討を進める。また、具体的方策が早期に軌道に乗るよう、必要な措置を講じる。